

練習を始める前に

全10問 | 小さな練習から、まとまった作文へ

名前 _____

日付 _____

意見文では、賛成か反対かだけでなく、なぜそう考えるかが大切です。身近な場面をもとに、理由と具体例をつなぎ、別の立場も尊重して考えを伝えましょう。ここにある学校や提案はすべて学習用の設定です。

問1～4 基礎／問5～7 標準／問8～10 応用。自分で書いてから、解答解説の例と確認基準を読みましょう。作文の内容は一つに決まりません。

この教材の「字数」は、横書き原稿欄の使用マス数で数えます。本文だけの文字数とは異なります。題名・氏名は原稿欄の外に書きます。

1行20マス。段落の最初は1マス空けます。改行は次の行へ進み、前の行の余ったマスも数えます。最終段落の末尾より後の空きマスは数えません。

句読点・かぎ括弧は原則1マスです。ただし「。」と直後の閉じかぎ括弧は同じマスに書きます。句読点や閉じ括弧が行頭に来るときは、前の行の最後のマスに前の文字と一緒に入れます。

開き括弧が行末に来るときは、そのマスを空けて次の行から書きます。その空きマスも数えます。数字は原則として漢数字を使います。

以上はこの教材でそろえた練習用のルールです。学校・入試の原稿用紙や字数計算に別の指示がある場合は、その指示を優先します。

取り組み終わったら、できた問に印を付けましょう。

問1〔 〕 問2〔 〕 問3〔 〕 問4〔 〕 問5〔 〕

問6〔 〕 問7〔 〕 問8〔 〕 問9〔 〕 問10〔 〕

基礎の練習

問1～7は、作文につながる部分練習

名前

日付

問1 主張と理由を組にする

学級で朝の読書時間を週一回設ける案について、賛成または反対の立場と理由を二文で書きなさい。

条件

- 1 一文目に対象の提案と立場を書く。
- 2 二文目に理由を書く。資料にない数値は作らない。

確認 条件を満たし、読み手に伝わる表現になっているか。

問2 具体例を仮定として書く

「校内の案内図には、色だけでなく文字や記号も使うべきだ」という主張を支える理由と、想定できる具体例を書きなさい。

条件

- 1 理由と具体例を一文ずつ書く。
- 2 具体例は「例えば」で始める。実体験でなくてよい。

確認 条件を満たし、読み手に伝わる表現になっているか。

基礎の練習

問1～7は、作文につながる部分練習

問3 決め付けを敬意ある表現に直す

次の文を、反対する人の心配を尊重した文に書き直さない。相手の性格を評価する言葉は使いません。

考える材料

昼休みの音楽放送に反対する人は、みんなで楽しむ気がないのだ。

条件

- 1 相手の心配を一つ考えて書く。
- 2 その心配を尊重する姿勢を示す。

確認 条件を満たし、読み手に伝わる表現になっているか。

基礎の練習

問1～7は、作文につながる部分練習

問4 理由になっているか確かめる

Aが理由として弱いわけを説明し、Bを参考にしながら、Aの主張を支える別の理由に書き直しなさい。

考える材料

A 図書室の開室時間を延長すべきだ。長く使える方がよいからだ。

B 図書室の開室時間を延長すべきだ。放課後の補習に出た人も利用する機会を持てるからだ。

条件

1 Aが弱い理由を説明する。

2 Aの主張を支える理由を一つ作る。

確認 条件を満たし、読み手に伝わる表現になっているか。

標準の練習

問1～7は、作文につながる部分練習

名前

日付

問5 もっともな反対意見に応じる

学級に「質問を書いて入れる箱」を置く案に賛成する立場で、心配を認め、対応策を示す二～三文を書きなさい。

考える材料

案：名前を書かずに質問を出せる箱を教室に置く。

心配：特定の人をからかう投稿が入るかもしれない。

条件

- 1 心配を認める文を入れる。
- 2 誰が何をするか分かる対策を書く。
- 3 質問箱の利点とつなげる。

確認 条件を満たし、読み手に伝わる表現になっているか。

標準の練習

問1～7は、作文につながる部分練習

問6 読み手に合う理由を選ぶ

職員会議に生徒代表として提案します。「提出物の締切を学級の一枚の予定表にまとめる」案について、先生にも必要性が伝わる理由と、先生の負担への配慮を書きなさい。

条件

- 1 理由と負担への配慮を一つずつ書く。
- 2 先生への提案として失礼のない表現にする。
- 3 転記の誤りなどが起き得ることを踏まえた方法にする。

確認 条件を満たし、読み手に伝わる表現になっているか。

標準の練習

問1～7は、作文につながる部分練習

問7 構成メモで論理を点検する

「委員会活動の紹介を短い動画でも公開する」案について、①立場、②理由と想定例、③反対意見と対応をメモしなさい。

条件

- ①②③を分けて書く。
- 実際の撮影や公開は行わず、作文の構成だけを考える。
- 相手の心配に対応する案を書く。

確認 条件を満たし、読み手に伝わる表現になっているか。

問8 相談席への賛否を述べる

応用 | 使用マス数 160～200マス

名前 _____ 日付 _____

図書委員会に向けて、昼休みの図書室に小声で相談できる席を設ける案への意見を書きなさい。
賛成・反対・条件付き賛成のどれでも構いません。

考える材料

設定：図書室は一つの部屋で、相談席を区切る壁はない。別室を使えるかは未確認。目的は、本を使った調べ学習をしやすくすること。

条件

- 1 使用マス数は百六十～二百マス。二段落で書く。
- 2 第一段落に立場と理由、第二段落に異なる意見とそれへの対応を書く。
- 3 設定にない効果や数値を、確認済みの事実として書かない。
- 4 常体で書く。

構成メモ

立場・読み取った事実

理由・具体例

結論・注意点

問8 相談席への賛否を述べる 本文

使用マス数 160～200マス | 横書き 1マス9mm

本文を書く欄

																				20
																				40
																				60
																				80
																				100
																				120
																				140
																				160
																				180
																				200

数え方 段落頭・途中の改行で残る空きも数え、最後の文の後の空きは数えません。

確認 条件・根拠・段落を点検し、使用マス数を確かめたか。

読み返して直したいところ

直した理由

問9 便利さと利用条件を比べる

応用 | 使用マス数 160～200マス

名前 _____ 日付 _____

学級会に向け、日々の連絡を端末だけで配布し、紙の連絡をやめる案への意見を書きなさい。設定を踏まえ、利点と問題点の両方を考えなさい。

考える材料

設定：全員に学校の端末が貸与されている。ただし、家で通信できない生徒もいる。現在は紙で配布し、欠席者には後日渡している。新しい仕組みを決める話し合いである。

条件

- 1 使用マス数は百六十～二百マス。二段落で書く。
- 2 提案への立場、理由、想定例、異なる意見への応答を入れる。
- 3 全員が端末を持つことと、家で通信できることを区別する。
- 4 常体で書く。

構成メモ

立場・読み取った事実

理由・具体例

結論・注意点

問9 便利さと利用条件を比べる 本文

使用マス数 160～200マス | 横書き 1マス9mm

本文を書く欄

																				20
																				40
																				60
																				80
																				100
																				120
																				140
																				160
																				180
																				200

数え方 段落頭・途中の改行で残る空きも数え、最後の文の後の空きは数えません。

確認 条件・根拠・段落を点検し、使用マス数を確かめたか。

読み返して直したいところ

直した理由

問10 条件付きの結論を自分で作る

応用 | 使用マス数 160～200マス

名前 _____ 日付 _____

文化祭準備の役割を決めます。A「本人の希望を優先する」、B「全員でくじを引く」のどちらかを基本として提案しなさい。両案の組合せも認めます。

考える材料

設定：装飾・受付・会計・片付けなどがあり、役割ごとに必要人数が決まっている。人気の偏りはまだ分からない。健康上の事情などで担当が難しい仕事がある人には配慮する。

条件

- 1 使用マス数は百六十～二百マス。二段落で書く。
- 2 基本にする案とその理由を示す。
- 3 自分の案へのもっともな心配と対応を書く。
- 4 常体で書く。設定に反する一律の割当てはしない。

構成メモ

立場・読み取った事実

理由・具体例

結論・注意点

問10 条件付きの結論を自分で作る 本文

使用マス数 160～200マス | 横書き 1マス9mm

本文を書く欄

																				20
																				40
																				60
																				80
																				100
																				120
																				140
																				160
																				180
																				200

数え方 段落頭・途中の改行で残る空きも数え、最後の文の後の空きは数えません。

確認 条件・根拠・段落を点検し、使用マス数を確かめたか。

読み返して直したいところ

直した理由